

授業科目名・形態	助産学概論	講義	必修・選択の別	選択
担当者氏名	工藤 優子	開講期	3年前期	単位数 1

【授業の主題】

助産師は女性の性と生殖をめぐる健康問題に焦点をあてて援助する専門職である。その助産師の職業としての業務内容、責務、職業倫理、役割および、その基礎となる助産学の基本概念、助産師教育についての歴史的考察を加えながら解説する。また、わが国および諸外国の母子保健の動向について理解を深める。

【授業の到達目標】

1. 助産の概念、歴史を理解する。
2. 助産業務、責務、職業倫理、役割を理解する。
3. 助産師教育、母子保健の動向を理解する。
4. 今後の助産学と助産師業務の発展のために何をすれば良いかを学生自身で考える。

【授業計画・内容】

第1回	助産の概念
第2回	助産の歴史的考察
第3回	助産の歴史的考察
第4回	助産師と助産業務の特性
第5回	助産実践の倫理
第6回	助産師の活動分野
第7回	助産師教育
第8回	助産学の志向

【授業実施方法】

主に講義、1回グループワーク

【授業準備】

講義内容を踏まえ復習を中心に行う。

【主な関連する科目】「助産診断・技術学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」「助産管理論」

【教科書等】

我部山 キヨ子・武谷 雄二：助産学講座1、基礎助産学[1]助産学概論、医学書院

【参考文献】

授業で紹介していきます。

【成績評価方法】

レポート 80%、グループワーク取り組み 20%

【学生へのメッセージ】

助産師・助産とは、過去・現在・未来を一緒に考えていきましょう。